

[インデックスに戻る](#)

## 10. 三角関数

### 10-1. 定義と基本性質

#### 10-1-1. 角の拡張

##### 10-1-1-3. 弧度法

1周を $360^\circ$ とする単位を用いた角度の表し方を、60分法または度数法という。

1周を $2\pi$ ラジアンとする単位を用いた角度の表し方を、弧度法という。これは、半径1の円において、長さ1の弧に対する中心角の大きさを1ラジアンとしたものである。半径1の円において、長さ $a$ の弧に対する中心角の大きさは $a$ ラジアンである。

ラジアンを rad と表記することがある。また、単位「ラジアン」は、ふつう省略する。

(例)

1ラジアンは $\left(\frac{180}{\pi}\right)^\circ$ に等しい。また $1^\circ = \frac{\pi}{180}$ ラジアンである。

度数法	$0^\circ$	$45^\circ$	$90^\circ$	$135^\circ$	$180^\circ$	$225^\circ$	$270^\circ$	$315^\circ$	$360^\circ$
弧度法	0	$\frac{\pi}{4}$	$\frac{\pi}{2}$	$\frac{3\pi}{4}$	$\pi$	$\frac{5\pi}{4}$	$\frac{3\pi}{2}$	$\frac{7\pi}{4}$	$2\pi$

度数法	$0^\circ$	$30^\circ$	$60^\circ$	$90^\circ$	$120^\circ$	$150^\circ$	$180^\circ$	
弧度法	0	$\frac{\pi}{6}$	$\frac{\pi}{3}$	$\frac{\pi}{2}$	$\frac{2\pi}{3}$	$\frac{5\pi}{6}$	$\pi$	

	$210^\circ$	$240^\circ$	$270^\circ$	$300^\circ$	$330^\circ$	$360^\circ$
	$\frac{7\pi}{6}$	$\frac{4\pi}{3}$	$\frac{3\pi}{2}$	$\frac{5\pi}{3}$	$\frac{11\pi}{6}$	$2\pi$

[インデックスに戻る](#)